

不幸な動物を増やさないために



野良犬・野良猫が増えることは、地域の皆さんに迷惑を掛けてしまうだけでなく、不幸な動物が増えることにつながります。

不幸な動物を増やさないために、私たちができることは何か、考えてみませんか。

問い合わせ先

▷市役所市民課（☎43-7207）

▷広島県動物愛護センター（☎0848-86-6511）

府中市内で保護された子犬

地域で取り組む「野良犬減少」

尾道市向東地区では、地域全体で協力する体制を整え、野良犬対策協議会を立ち上げて対策を行うことで、地域の野良犬が減少に向かいました。
今回は、協議会立ち上げの中心的な役割を果たされた、尾道市向東区長会長の光永五十彦さんにお話を伺いました。

向東地区では、以前から野良犬の苦情が多発していました。地区内の16の区がそれぞれ対策を行っていましたが、それほど効果がありませんでした。大きな対策も取れませんでした。そこで平成24年に、16区が協力して対策を行い始め、平成26年に、野良犬対策協議会を立ち上げました。

協議会を立ち上げたことで、16区全体の協力を得る

だけでなく、市や愛護センターと連携することができ、組織として大規模な対策を行うことができました。その一つとして、愛護センターから大型の保護器を借り受け、地域住民の協力のもと、多数の野良犬を保護しました。

地域と行政の協力が大切

『地域でできることは地域でやる』が、私のモットーです。地域でできる対策は地域で行い、地域だけでなく、地域でできない部分は、行政と協力する。野良犬対策でも、協議会のような協力体制を作ることが、重要だと思います。

野良犬が地域に居つくのには、原因があります

▽野良犬に餌を与えている

人はいませんか？

▽生ごみなど、野良犬の餌になるものが放置されていませんか？

▽近所でそれらを見つけたときに、注意できる環境ですか？

このような原因があるかぎり、野良犬は地域で繁殖し、地域に居ついてしまいます。

向東地区では、市の協力を得て、餌やりを禁止するチラシを回覧したり、餌やりを行う人を直接説得するなどの対策を、地区全体で行いました。

野良犬の数を減らすには、こうして一人一人の心掛けから変えていく必要があります。住みよい地域を作るためにも、まずはご近所さんと、野良犬対策について話し合ってみましょう。

※野良犬対策協議会…地域の野良犬を減らすために、地域住民、市、動物愛護センターが協力して、野良犬の保護やチラシ配布などの対策を考えていくための組織。

犬の飼い方・しつけ方教室を11月に開催します 参加無料



ペット、飼い主、周りの人が快適に暮らすために、飼い方、しつけ方を学んでみませんか。

とき 11月13日(金)13時30分～15時30分

ところ リ・フレ

府中市の野良犬対策状況



現在、府中市では、あちこちで産まれる野良犬に対して対応が追い付いておらず、地域の協力を必要としています。

そこで、今後の野良犬対策において、地域と密接に協力をしていき、ゆくゆくは野良犬対策協議会の立ち上げにつながる活動をしていきたいと考えています。

不幸な動物が産まれることを防ぐためにも、また安全と良好な衛生状態を保つためにも、野良犬対策は地域と行政の協力が欠かせません。

皆さまのご協力をお願いします。

野良犬・野良猫を増やさないために

◎野良犬に餌をあげない

目の前にいる野良犬・野良猫に餌をやることは、動物たちのためになりません。

餌があれば、動物はその周辺に居つき、年に数回、1回につき4、5匹の子どもを産んでしまいます。

初めは1組のつがいが、1年で20匹近くに増えてしまうのです。助けるつもりが、飢えに苦しむ動物を増やしてしまいます。

◎飼い犬に避妊手術を受けさせる

犬を飼う際に、繁殖を望まないのであれば、避妊手術を受けさせましょう。避妊をせず、外につないで飼っていると、野良犬と交尾をして、野良犬の増加につながる場合があります。

また、犬は自分で発情をコントロールできないため、年2回の発情期が大きなストレスになってしまいます。

知っていますか？

広島県は犬・猫の殺処分数が全国最多（平成23年度）

平成23年度、広島県は犬・猫の殺処分数が全国最多となりました。昨年度も、わずか1年で3,799匹（速報値）もの犬・猫が処分されています。

殺処分の数は年々減っているものの、他の県と比べると、依然として多い状態が続いています。

愛護センターに収容され、処分されていく犬・猫の大半は、野良や、捨てられた子犬・子猫です。新しい飼い主が見つかるのはごくわずかで、ほとんどはそのまま殺処分となってしまいます。